

巻 頭 言

理化学研究所 播磨研究所長

壽榮松 宏仁



大型放射光施設SPring-8は、(独)理化学研究所が設置する我が国最大の共用研究施設であり、国内外の研究者に広くその利用機会を提供しております。このため、大学や企業の研究者ユーザーによる施設利用は勿論、多くの研究機関、JASRI((財)高輝度光科学研究センター)、(独)日本原子力開発機構、(独)物質材料研究機構、兵庫県および県立大学、さらに台湾同步輻射研究中心(NSRRC)などがここに研究拠点を置き、先端研究を展開しております。

本年報は、SPring-8で活躍するこれらの各研究組織・機関のアクティビティーを紹介するものです。

SPring-8の経営は、理研の任務であり、この世界最高の研究施設から、最先端の優れた研究成果を創出するため、研究基盤の高度化・強化を図り、その研究成果と人材育成を通じて社会還元することを目指しています。一方、SPring-8施設の運転管理など実際の運営は、JASRIに委託しております。JASRIは、また、利用者選定・支援など施設利用業務に関しても、新共用促進法の下での登録施設利用機関として、全面的にユーザー対応に当たっています。本施設の成果を最大化するには、理研とJASRIの緊密な不断の連携が不可欠であると認識しております。

2006年SPring-8キャンパスでは、理研—JASRIの共同プロジェクトチームによるX線自由電子レーザー(XFEL)施設の建設が始まりました。このプロジェクトは、2010年度の施設完成を目指し、現在、順調に進捗しております。完成後は現在のSPring-8と同様、新たな共用施設として広くユーザーに供されます。これによりSPring-8の高輝度放射光に加え、世界で初めてX線領域のレーザーの利用が可能となります。SPring-8とXFELの相乗効果を含めて、SPring-8キャンパスはフォトンサイエンスのCOEとしても画期的な展開ができるものと期待しております。

皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。